

持続可能な社会を実現する

東レのグリーンイノベーション

未来を生きる人々のために、サステナブルな地球、
社会を実現する革新的な技術・製品の開発に取り組み、
グリーンイノベーションプロジェクトを推進しています。

地球環境問題に取り組むことは
21世紀に生きる企業としての
責任と使命

気候変動 資源枯渇 大気汚染
水不足などの地球環境問題は、私たち
人類の経済的活動がおもな要因で
す。昨年秋に発表されたIPCC^{※1}



東レ株式会社 参事
地球環境事業戦略推進室長 畑 慎一郎氏

（気候変動に関する政府間パネル）
第5次報告によれば、地球の温暖化
はとどまることなく、ますます世界
規模での対策が求められています。

私たち東レグループは、化学産業
に従事する企業として、さまざまな
地球環境問題の解決に貢献する革新
的技術の創出を通じて、持続可能な
低炭素・循環型社会への転換に本気
で取り組むことが、社会に対する大
きな責任であると考えています。こ
れからも東レグループは、地球を含
むすべてのステークホルダーのため
に革新的な技術 素材を通して貢献
してまいります。

※1 Intergovernmental Panel on Climate Change：地球温暖化に関する科学

的な研究の収集、整理を行っている国連管
轄の政府間機構。7年ごとに発行する報告
書は、国際間協議や各国・企業の政策に強
い影響を与えている。

東レのグリーンイノベーションは 第2ステージへ

東レグループは、創立85周年を迎
えた2011年4月に、長期経営ビ
ジョン「AP Growth TO
RAY 2020」と、その第1ス
テージとして取り組む中期経営課題
「プロジェクトAP-G2013」
をスタートさせ、改めて環境経営に
注力していくことを表明し、社長を
リーダーとした全社プロジェクト
「グリーンイノベーション事業拡大
プロジェクト(GRプロジェクト)」
を立ち上げました。

GRプロジェクトでは、LCA
※2に基づくLCM※3環境経営を実
践することにより、地球環境問題や
資源・エネルギー問題の解決に貢献
する「グリーンイノベーション製成品」
の売上高を「2020年近傍に1兆
円に拡大」することを目標に推進し
ています。また、同製成品がサプ
ライチェーンを通して得られるCO₂前
減貢献量については、「2020年
近傍に2億トン/年」の達成に向け
て取り組んでいます。

※2 Life Cycle Assessment：製品や
サービスについて、資源採掘から製造、使



グリーンイノベーション製品の環境貢献区分

グリーンイノベーションの実現		
1	省エネルギー	基本概念：製品のライフサイクルを通してエネルギー消費を削減できるもの おもな製品：航空機・自動車・圧力容器用炭素繊維／清涼・暖か繊維／感光性機能材料
2	新エネルギー	基本概念：新エネルギー関連産業で使用される部材・材料・技術全般 おもな製品：太陽電池用バックシート／リチウムイオン電池用セパレータ
3	バイオマス由来	基本概念：非化石原料由来製品 おもな製品：バイオベースPET、3GT 繊維／ポリ乳酸(繊維・樹脂・フィルム)
4	水処理	基本概念：水の浄化に関連する部材、装置、システムなど おもな製品：RO・MF・UF 膜／家庭用浄水器トレビーノ®
5	空気浄化	基本概念：空気の浄化に関連する部材、装置、システムなど おもな製品：集塵フィルター／エアフィルター
6	環境低負荷	基本概念：有害物質の排出・使用を抑制するもの おもな製品：非ハロゲン難燃材料(繊維・樹脂・フィルム)／東レ水なし平版®
7	リサイクル	基本概念：リサイクル材を利用するもの、リサイクルを前提とした製品設計 おもな製品：再生型・循環型リサイクル／マテリアル・ケミカルリサイクル
8	プロセス革新	基本概念：現状プロセスの環境負荷を大幅に低減できる革新的製造技術 おもな製品：低排ガスケミカルズ

用、廃棄にわたるライフサイクル全体を考慮しその環境影響を評価すること。

※ Life Cycle Management : LCAの思想を活かし、環境負荷低減と経済成長を同時に目指す環境経営

2014年4月にスタートした新たな中期経営課題「プロジェクトA P-16」においても引き続き「GRプロジェクト」を最重要課題のひとつに掲げ、第2ステージをスタートさせています。製品やサービスをライフサイクル全体で捉えるLCA環境経営の実践などを踏まえ、これまで以上に事業本部と研究開発部署が一体となっ

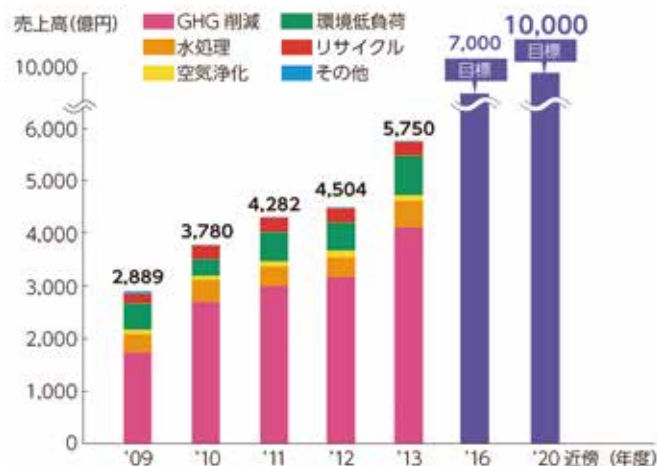
て事業拡大に取り組み体制を構築し、プロジェクトを加速させています。

グリーンイノベーション事業拡大プロジェクト

東レグループは、以前から地球環境に貢献する製品、素材を提供してきましたが、2011年度からは、重要性を増す地球環境問題に対応して「グリーンイノベーション事業拡大(GR)プロジェクト」を設置し、取り組みを強化しました。その結果、グリーンイノベーション事業の売上高は2013年度5,750億円となり、目標の5,000億円を大幅に上回りました。2014年度から新たにスタートした中期経営課題「プロジェクトA P-16」において、G2016においては、GRプロジェクトの2016年度目標を7,000億円に拡大し、継続推進します。

また、CO2削減貢献量は確実に拡大しており、2013年度は

グリーンイノベーション事業の推移(東レグループ)



約38百万トンCO2^{※1}でした。

※1 自社LCA分析により削減効果が検証できた主要GR製品の貢献量を積算した数字。

グリーンイノベーション事業の目標と2013年度実績

【目標1】グリーンイノベーション事業売上高2020年近傍で1兆円

【目標2】CO2削減貢献量2020年近傍で2億トン/年